

現在の真理を認識し、真理の絶対性を維持し、  
真理で構成されて、召会を真理の柱また基礎とする

聖書：ヨハネ 18:37. I テモテ 2:4. II ペテロ 1:12. II ヨハネ 1-2 節.  
III ヨハネ 3 節. I テモテ 3:15-16

**I. 主の回復は、神の言葉の中に啓示された神聖な真理の回復です——ヨハネ 8:32：**

- A. 御言の中の真理は失われ、誤解され、間違っ適用されてきました。ですから、主の回復の必要があります——II テモテ 2:15。
- B. 聖書の真理には客観的な面と主観的な面があります。客観的な教理は主観的な真理のためであり、主観的な真理は召会を生み出すためです——II ヨハネ 1-2, 4 節. III ヨハネ 3-4, 8 節。
- C. 回復は最高の真理、すなわち、過去の世紀で回復された真理の究極的完成である真理を持っています——II テモテ 2:2, 15。
- D. 主の回復の標準は、わたしたちが出す真理の標準にかかっています——I テモテ 2:4. II テモテ 2:15. テトス 1:1。

**II. わたしたちは現在の真理、最新の真理を認識する必要があります——II ペテロ 1:12：**

- A. すべての主の働き人は神の御前で、何が現在の真理であるかを尋ね求めるべきです——ヨハネ 8:32. III ヨハネ 8 節：
  - 1. 神は特定の期間にある真理を解き放ち、それがもう一度、啓示されるようにします。
  - 2. 聖書には多くの主要で重大な真理がありますが、わたしたちが知る必要のあるのは、神の現在の真理、彼の最新の真理です——II ペテロ 1:12。
- B. 回復の中で真理の光は最新です——ヨハネ 8:12, 32. I ヨハネ 1:5-6。
- C. わたしたちが解き放つ必要があるのは、神が人と成ったのは人が神格においてではなく、命と性質において神となるためであるという真理であり、新エルサレムについての真理です——ローマ 8:3. 1:3-4. ヨハネ 1:12-14. 啓 21:2, 9-11：
  - 1. 新エルサレムは、神の選ばれ、贖われ、再生され、聖別され、造り変えられ、栄光化されて、神化された人の構成です——2, 9-11 節：
    - a. 神の側で、三一の神は肉体と成って人と成りました——ヨハネ 1:14。
    - b. わたしたちの側で、わたしたちは神化され、手順を経て究極的に完成された三一の神で構成されて、命と性質において神となり、彼の団体の表現となって永遠に至ります——啓 21:2, 9-11。
  - 2. 神はキリストの中で人と成って、人を神格においてではなく命と性質において神とならせ、贖う神と贖われた人が共にミングリングされ、構成され、合併されて、一つの実体、すなわち新エルサレムとなります。これが最高の真理です——ヨハネ 1:12-14. 14:20. 啓 21:2。

**III. 真理は常に絶対です。神はわたしたちが真理の絶対性を維持することを願っています——ヨハネ 14:6. 18:37. III ヨハネ 3-4, 8 節：**

- A. すべての主の働き人は、真理の絶対性を維持しなければなりません——8 節。
- B. 真理に対して絶対的になるとは、真理のことでどの個人的な感情や関係にも影響さ

れないことを意味します——ヨハネ 14:6. マタイ 10:37-39。

- C. 真理は絶対的であるので、わたしたちは自分を犠牲にし、自分を脇に置かなければなりません—— 16:24. 啓 2:13. 12:11 後半。
- D. わたしたちは真理の側に立って、自分に反対しなければなりません。こうしてはじめて、自分ではなく真理を維持することができます——ヨハネ 18:37. 啓 1:5 前半。
- E. わたしたちはここにおいて、人ではなく真理に従っており、ここにおいて、真理の絶対性を維持しています——ローマ 3:4. II テモテ 2:15, 25. テトス 1:1。

#### IV. わたしたちは真理で構成される必要があります—— I ヨハネ 1:8. 2:4. II ヨハネ 1-2 節:

- A. わたしたちは真理の全き知識に来なければなりません。それは真理の徹底した理解、霊的で神聖な事柄の実際を完全に認識し、評価することです—— I テモテ 2:4。
- B. 神聖な真理を学ぶ最上の道は、翻訳され正しく解釈された聖書を学ぶことです—— II テモテ 3:14-17. 箴 23:23:
  - 1. 聖書の言葉の内在的な意義を見ることで、最上の助けは回復訳とフットノート、そしてライフスタディです——ネヘミヤ 8:8, 13。
  - 2. わたしたちは神聖な啓示の高嶺についてのメッセージ（1994 — 1997 年）を勉強し、神聖で奥義的な領域における新しい文化の新しい言語にしたがって、高嶺の真理を語ることを学ぶ必要があります—— I コリント 2:13。
- C. 真理で構成されるとは、神聖な啓示の内在的な要素がわたしたちの中に造り込まれて、わたしたちの有機的な構成となることです——詩 51:6:
  - 1. 神聖な啓示の内在的な要素は、わたしたちの存在の中に造り込まれ、構成されなければなりません——コロサイ 3:16. I ヨハネ 1:8. 2:4. II ヨハネ 2 節。
  - 2. いったん真理が、わたしたちの理解を通してわたしたちの中に入り、わたしたちの記憶にとどまるなら、わたしたちは真理の蓄積を持ち、真理は常時の、長期的な栄養となります—— 1-2 節。

#### V. 召会は真理を支持する柱、また保持する基礎です—— I テモテ 3:15-16:

- A. I テモテ第 3 章 15 節の「真理」は、神の新約エコノミーにしたがった、キリストと召会に関する新約における真の事柄を指します——マタイ 16:16, 18. エペソ 5:32。
- B. 真理とは三一の神であり、キリストを具体化、中心、表現とし、キリストのからだ、神の家、神の王国としての召会を生み出すことです——コロサイ 2:9. エペソ 1:22-23. 4:16. I テモテ 3:15. ヨハネ 3:3, 5。
- C. 特に、I テモテ第 3 章 15 節の「真理」は、16 節の「肉体において現され」た方を指しています:
  - 1. ここの「真理」は、神が人の中に入り、人において現されることを指しています。ですから、真理とは神が肉体において現されることです。
  - 2. 召会は、神が肉体において現されるという真理の柱また基礎です。召会は宇宙に対して、神が肉体において現されるという事実を維持し、提示します。

#### VI. 主の回復の中で、わたしたちは「真理の道」を取らなければなりません。それは真理にしたがったクリスチャン生活の経路であり、この真理は新エルサレムの内容の実際です—— II ペテロ 2:2。